



佐渡海洋深層水

SADO DEEP SEA WATER

その2 深層水でこんなことをしています！

海洋深層水については先月号でご紹介したとおり、低温安定性・清浄性・富栄養性といった優れた特性により、全国で既に様々な分野での利活用が始まっています。

今回は多田漁港内にある佐渡海洋深層水の利活用施設と利活用計画についてご紹介します。

◇佐渡海洋深層水利活用施設

【取水施設】

この施設では、佐渡海峡の水深332mから海洋深層水を1日に1,200m³取水し、各利活用施設に送水します。

取水管は、内径216mmの被覆ライニング鋼管を採用し、施工延長は3,663mです。低水温を保つため、断熱処理が施されているのが特徴です。



・種苗生産施設

この施設では、深層水の清浄性を活かし、良質なクロアワビの種苗を年間10万個生産します。

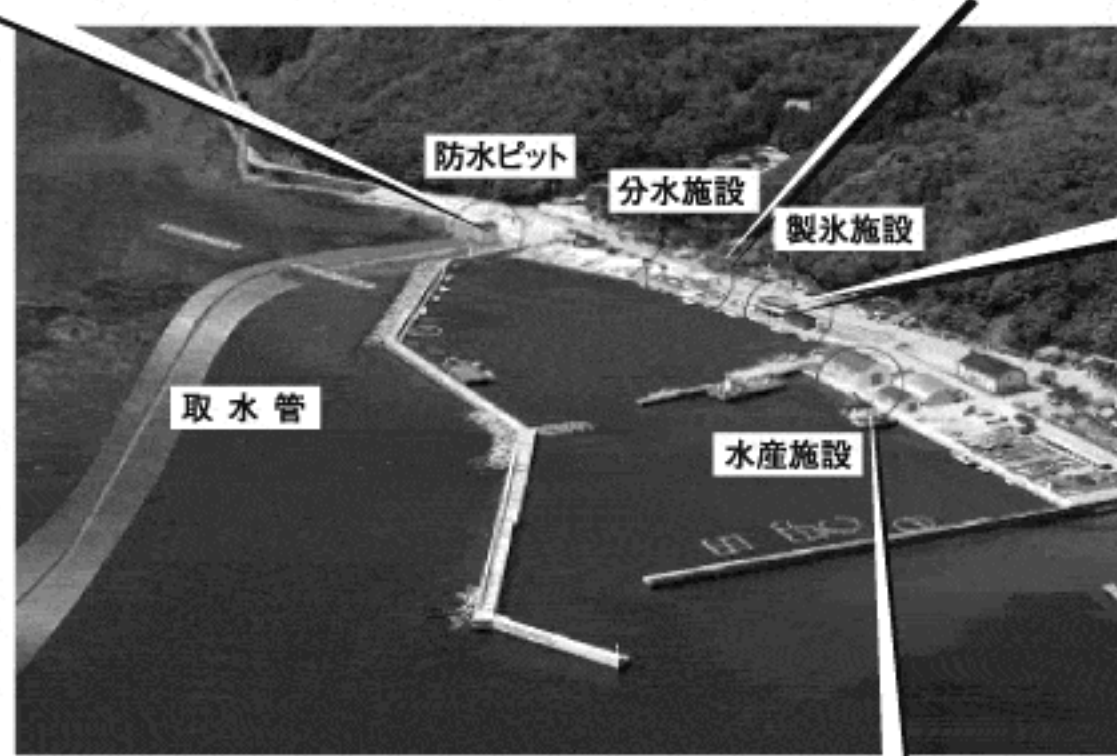
需要の高いクロアワビを安定的に放流することで、佐渡地域における漁業生産量の増大を図ります。



【分水施設】

この施設では、企業や住民の皆様へ海洋深層水を分水します。車両積載タンク供給用の大口分水装置と少量容器供給用の小口分水装置があります。優れた特性を持つ海洋深層水の利活用をさらに広げるため、逆浸透膜方式・電気透析方式の2種類の脱塩装置を整備しており、原水のほかに脱塩したものや濃縮したものなど5種類の海洋深層水を供給することができます。

商業分野から一般家庭に至るまで、それぞれの業種や用途に合わせて幅広く海洋深層水を利用することができます。



◇製氷施設

この施設では、従来の真水に替えて、魚介類の鮮度保持に高い効果があると報告されている海水氷(深層水氷)を生産します。



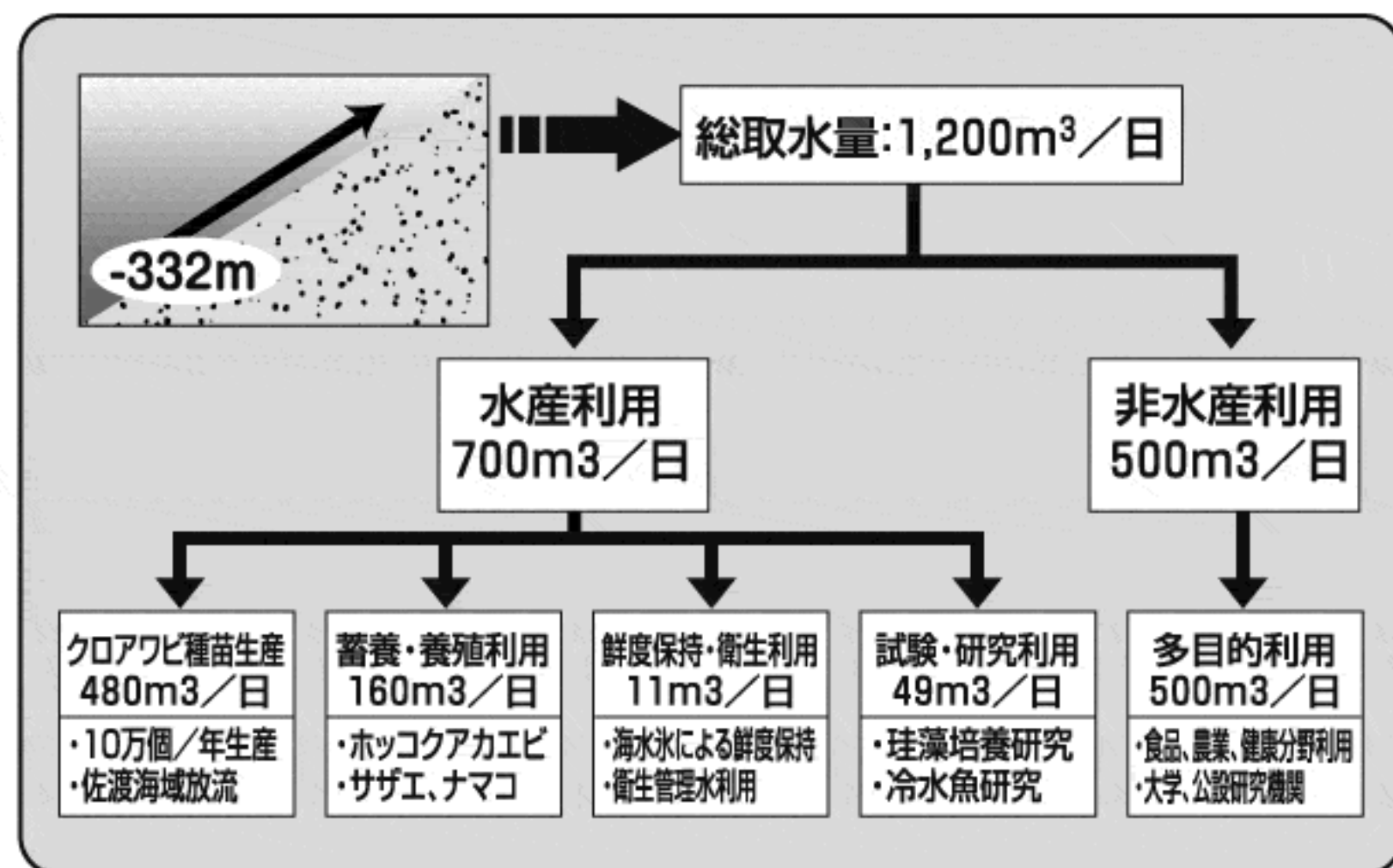
【水産施設】・蓄養施設

この施設では、一時的に魚介類を蓄えることで、時化等で魚に出られない時や水揚の少ない日に、この魚介類を出荷します。

ホッコクアカエビ(ナンバンエビ)、ズワイガニ等の冷水性魚種他、種苗生産施設からの温海水を利用することで、様々な魚種の飼育に対応することができ、鮮度の高い魚介類を市場や観光客に提供することが可能となります。



◇海洋深層水の利活用計画



海洋深層水対策室 ☎66-3111

4月から海洋深層水の分水許可手続きが変わりました。

- ◆一般利用の方
分水施設で氏名・住所・連絡先を記入して分水を受けることができます。(事前の分水許可申請は不要です)
- ◆事業者の方
従来通り、事前に分水許可手続きが必要です。



芸能祭・芸能発表会



▲相川芸能祭



▲さわた芸能祭



▲金井芸能発表会



▲真野芸能祭



▲畑野 市民芸能発表会



▲小木芸能祭



▲新穂芸能祭



▲羽茂芸能ステージ



▲赤泊芸能発表会

芸能を愛する島・佐渡
日ごろ練習を重ねてきた芸能を披露する会が、市内各地で催されました。演奏、踊り、歌など日ごろの成果が伸びやかに発表され、観客から賞賛の拍手があがりました。

今年も相川体育館に全国から予選を突破した14校が集まり、「佐渡」をテーマにした作品をつくり、はなが日本一を競いました。優勝となる県知事賞には、昨年に続き島根県立大社高等学校が受賞しました。

3/24~27
第5回はなが甲子園
大社高校(島根)が
2連覇!



「この作品のテーマは再生と復興。災害を乗り越え頑張って」

金の道



江戸時代、佐渡金銀山から江戸まで御用金が運ばれた「金の道」。今年も「佐渡の日」に合わせて、3月13日(日)に「金の道―早春の相川街道を行く」と題し、佐渡金山を出発点に小木港まで徒歩で行くイベントが行われました。当日は悪天候でしたが、100人以上が参加し、金が運ばれた昔に思いをはせ、元氣よく歩きました。